

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成31年3月22日 (2019.3.22)

【公表番号】特表2018-514977(P2018-514977A)

【公表日】平成30年6月7日 (2018.6.7)

【年通号数】公開・登録公報2018-021

【出願番号】特願2017-548097(P2017-548097)

【国際特許分類】

H 0 4 N 5/74 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 5/74 D

【手続補正書】

【提出日】平成31年2月7日 (2019.2.7)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

少なくとも 1 つの周辺イメージを処理する方法であって、前記少なくとも 1 つの周辺イメージは中央イメージが表示されるスクリーンの境界を超えて広がる表面上に表示され、前記少なくとも 1 つの周辺イメージは、前記中央イメージの拡張に対応しており、前記方法は、

前記表面の反射率レベルの情報表現を取得することと、

前記少なくとも 1 つの周辺イメージの輝度に対して光補正関数を適用することによって反射率レベルの前記情報表現に従って前記少なくとも 1 つの周辺イメージの前記輝度を適応させることと、

を含む、方法。

【請求項 2】

前記情報表現は、前記表面上の決定された強度を持つ投射された光の反射を取得することによって得られる、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記表面のアルベルド及び前記少なくとも 1 つの周辺イメージを投影するプロジェクタと前記表面の法線との間の角度の値とによって得られる、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 4】

前記少なくとも 1 つの周辺イメージの前記輝度が高い輝度しきい値を超える場合に輝度が減少され、且つ、前記少なくとも 1 つの周辺イメージの前記輝度が低い輝度しきい値未満である場合に輝度に変更されないような前記光補正関数である、請求項 1 乃至 3 のいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 5】

前記低い輝度しきい値と前記高い輝度しきい値が、それぞれ、基準反射率レベルで表示されたとき、前記少なくとも 1 つの周辺イメージの輝度を増加させるために前記表示される少なくとも 1 つの周辺イメージの低いレンダリングされる輝度レベルと高いレンダリングされる輝度レベルに対応する、請求項 4 に記載の方法。

【請求項 6】

前記周辺イメージの輝度を適応することが、

基準反射率レベルに適応した光補正関数を適用することと、

グローバル輝度レベルに適應するために前記周辺イメージの輝度を減少させることと、を含む、請求項 1 乃至 4 のいずれか 1 項記載の方法。

【請求項 7】

前記少なくとも 1 つの周辺イメージの輝度を適應することが、前記少なくとも 1 つの周辺イメージにおける動くオブジェクトの前記輝度を増加することを含む、請求項 1 乃至 6 のいずれか 1 項記載の方法。

【請求項 8】

少なくとも 1 つの周辺イメージを処理するデバイスであって、前記少なくとも 1 つの周辺イメージは中央イメージが表示されるスクリーンの境界を超えて広がる表面上に表示され、前記少なくとも 1 つの周辺イメージは、前記中央イメージの拡張に対応しており、前記デバイスは、プロセッサと関連するメモリを備え、前記プロセッサは、

前記表面の反射率レベルの情報表現を取得し、

前記少なくとも 1 つの周辺イメージの輝度に光補正関数を適用することによって反射率レベルの前記情報表現に従って前記少なくとも 1 つの周辺イメージの前記輝度を適應する、
ように構成される、デバイス。

【請求項 9】

前記情報表現は、前記表面上の決定された強度を持つ投射された光の反射を取得することによって得られる、請求項 8 に記載のデバイス。

【請求項 10】

前記表面のアルベルド及び前記少なくとも 1 つの周辺イメージを投影するプロジェクタと前記表面の法線との間の角度の値とによって得られる、請求項 8 に記載のデバイス。

【請求項 11】

前記デバイスは、ビデオ投射デバイスを含むシステムに属する、請求項 8 乃至 9 のいずれか 1 項に記載のデバイス。

【請求項 12】

前記プロセッサは、さらに、前記少なくとも 1 つの周辺イメージにおける動くオブジェクトの前記輝度を増加させるように構成される、請求項 8 乃至 11 のいずれか 1 項に記載のデバイス。

【請求項 13】

プログラムがコンピュータ上で実行されたときに、請求項 1 乃至 7 のいずれか 1 項に従って、前記方法のステップを実行するためのプログラムコードの命令を含む、コンピュータプログラム。

【請求項 14】

請求項 1 乃至 7 のいずれか 1 項に従って前記方法のステップをプロセッサに実行させるための命令をその中に記憶したプロセッサ読取可能媒体。